



# 日刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番

(公) 043(222)7207番

97.8.28 No.4651

DL検修問題で交渉—貨物関東支社

# 臨時検査の体制確立を

八月二〇日、貨物関東支社と動労千葉は、貨物協議会がDL検修体制の確立を求めて発出した動労千葉申第二九号「千葉機関区の検修体制その他についての申し入れ」について団体交渉を行なった。

この申し入れは、分割・民営化により決定していた新小岩地区の基盤整備による貨物会社の諸現業機関の移転と、佐倉機関区廃止によるDL検修の京葉臨海鉄道への全面委託が、九月十五日より本格開始されることによりDL検修体制に大幅な変更が生じていてことから、その問題点を解明するものとして出された。

DL検修体制の確立を

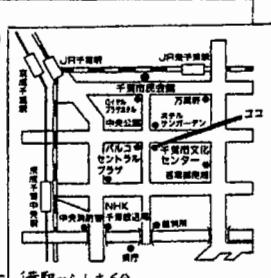


9/11 安保・沖縄、国鉄のたたかいとともに  
NO! 戦争への道—ガイドライン

●9月11日(木)午後6時半 (ビデオ上映)  
●千葉市文化センター セミナー室 5F

「安保・ガイドラインと労働運動」 中野 洋氏  
(国鉄千葉動力車労働組合委員長)

沖縄と未来のための千葉実行委員会 (10・27集会実行委員会改称)  
連絡先 千葉市中央区要町2-8 動力車会館 ☎043(222)7207



う中でさらに発生することなどから、こうした点についても問題点を明らかにした。これに対し関東支社は、さらに京葉臨海と細部をつめるとともに、大宮車両所についてもDL検修について指導を強化することなどがあきらかにされた。

E-L全車種の冷房化を  
六千人体制との闘いを

また乗務員分科会より出されていたE-Lの冷房化の要求にたいして、車種別に鐵

貨物会社は、現在「新フレイト21」計画のもとに鐵道部門は七九〇〇人であることが明らかになった。支社はこの交渉で今後の冷房化の計画を明確にしたが、早急に全車両の冷房化をという声が強く出された。

現状が明らかとなつたが、千葉地区を走行している高崎機関区配置のEF65は旧型車が多いこともあり、ほとんど冷房工事が行なわれていないうことが改めてはつきりした。支社はこの交渉で今後の冷房化の計画を明確にしたが、早急に全車両の冷房化をという声が強く出された。

道部門六千人体制合理化に突き進んでいる。六月に行なわれた貨物本社との交渉のなかで、本年四月時点では今後冷房化の計画を明確にしたが、早急に全車両の冷房化をという声が強く出された。

六千人体制実現には、車両検修関係の子会社・部外委託化と動乗勤改悪が不可欠という声すら聞かれる。貨物六千人体制との闘いはこの二~三年が勝負となる。物全力で闘いに立ち上がる。